

FUKUSHI

福祉

ASAKUCHI

あさくち

第19号

30

被災地支援ボランティア
浅口市からも参加

ae 社協だより

社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会

- | | | |
|----------------------------------|----------------|------------------|
| ☐ 本 所 | 浅口市鴨方町鴨方73 | TEL 0865-44-7744 |
| ☐ 金 光 支 所 | 浅口市金光町占見新田751 | TEL 0865-42-7308 |
| ☐ 寄 島 支 所 | 浅口市寄島町16010 | TEL 0865-54-3317 |
| ☐ カニ丸の家 | 浅口市寄島町16089-17 | TEL 0865-54-3113 |

www.fukushiokayama.or.jp/Asakuchi/

地域ぐるみで安心の輪 広がる いのちのボタン

民生委員・福祉委員の協力で全市へ



いのちのボタンとは

自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶなど「もしも…」のときの安全と安心を守る取り組みとして、浅口市社会福祉協議会ではいのちのボタン事業を始めました。かかりつけ医や持病などの医療情報や親族等の連絡先などの情報を記入した「いのちのカード」を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくことで、万一の救急時に備えます。

持病や服薬等の医療情報を確認することで、適切で迅速な処置が行えること、また緊急連絡先の把握により親族などにいち早く連絡を取ることができます。

どんな人が対象？

浅口市の場合、対象者は原則としては65歳以上の一人暮らしの方、75歳以上の高齢者世帯、障がい者の方



としています。世帯で複数の人が希望される場合は、1本の「いのちのボタン」に複数の「いのちのカード」を入れるようにしています。ただし、「いのちのカード」には重要な個人情報を入力するため、本人からの同意書をいただくことになっています。

「いのちのボタン」は誰でももらえる？

地元の民生委員、福祉委員にご相談いただければ、「いのちのボタン」をお持ちいただけます。いのちのボタンは無料で配布します。「いのちのカード」へ記入した内容が変わることがあるため、定期的に内容の確認をします。いのちのボタンを設置している世帯は、浅口市社会福祉協議会、地元町内会などで把握しておきます。

緊急医療情報キット

「いのちのボタン」は、自宅で救急車を必要とする事態に備え、簡状の容器の中に緊急連絡先や治療中の病気や服薬等の情報を記した「緊急対応カード」を入れておき、見つけやすいように冷蔵庫の中に保管しておくものです。

病気やけがで本人に意識がなくても中の情報を見ることで、救急隊員が迅速かつ的確に救護でき、医療機関への引き継ぎや親族への連絡に大いに役に立てることができる仕組みとして、各地で取り組まれています。

浅口市社協です

福祉のまち

安心して暮らせるまち

例えば、ひとり暮らしの高齢者に緊急事態が発生した時、早期に発見がなされ、親族等に連絡してもらえらる仕組みがある等、安心して暮らしていく上での福祉の目や心を大切にする「まち」

支え合えるまち

本人や家族・親族の努力にもかかわらず、状態が好転しないとき周りの人たちが、自然なかたちで手を差し伸べてくれるなど、「遠くの親戚より近くの他人」を実感できる「まち」

共に暮らせるまち

たとえ障がいがあっても、バリアフリー等の環境が整備され、高齢者や障がい者を受け入れる住民の理解もあって、誰もが住みなれた地域で共に暮らし続けることのできる「まち」

潤いのあるまち

閉じこもりがちな障がい者や高齢者にとっての“ふれあい・交流の場”が身近なところに設けられているなど、誰もが、地域で共に暮らせる生活に潤いのある「まち」

区長の立場で

地域ぐるみで福祉を推進

川手公彦さん(金光町)

金光町上竹地区は市内でも高齢化率が高いところ。それだけに「いのちのボタン」にも関心が高く、65歳以上の人167人中111人が設置しています。世帯で複数のカードをボタンに入れてある場合も少なくありません。上竹地区では、昨年6月に地区社協が発足しました。「地区ぐるみでお互いを守ろう」を合言葉に市内で一番いのちのボタンの取り組みました。

利用者(本人)の立場で

待望の「いのちのボタン」

M・Aさん(鴨方町)

テレビでいのちのボタン(名前は違っていました)のを知り、私自身一人暮らしなので、大いに関心を持っていました。浅口市でもいのちのボタンが始まると聞いて、さっそく設置してもらいました。私の場合、保険証やおくすり手帳なども書き写して入れています。いつ何時、体調不良になるかわからないので、保険証は持ち歩くようにしています。いのちのボタンは私にとってお守りのようなものです。

福祉委員の立場で

平生からの声掛けも忘れずに

笠原美佐枝さん(寄島町)

寄島でも地区(コミュニティ)・民生委員・福祉委員が協力して、いのちのボタンが進められています。設置を希望する方について、カードに記入漏れがないか確認します(場合によっては代筆を頼まれることもあります)。そしてボタンを確実に冷蔵庫に入れ、ステッカー(磁石)を貼るまでチェックします。いのちのボタンは、冷蔵庫に入れて終わりではなく、平生からの地域での声掛け見守りがあって、一層効果を上げると思います。

永年の活動に感謝

ボランティア功労者表彰

6月24日に開催されたボランティア連絡協議会の総会において、ボランティア功労者表彰が行われました。山下隆志浅口市社会福祉協議会長から表彰状が手渡されました。受賞者の皆様には、「やさしさ」と共生の浅口市」のために一層の活動をお願いします。



荒川 伯夫さん
(寄島町 みつやま
クリーンクラブ)

みつやまクリーンクラブの発足当初より、会長として、会員の指導・行事計画など積極的に関わってこられ、環境美化活動のリーダーとして大きな役割を担ってこられました。



三宅 鉄美さん
(寄島町 給食ボラ
ンティア「ガザミの
会」)

『ガザミの会』では、主に調理のボランティアとして10年以上の長期の活動を続けられ、利用者の方や地域、



森山 妙子さん
(金光町 ヘルスポ
ランティアの会)

会員とを結ぶパイプ役として無くてはならない重要な存在です。
ヘルポラ会員として、施設での活動、地域のふれあいサロン、食事サービスにも積極的に参加され、現在は会の監事として会の運営にも尽力されています。



重近 妙子さん
(金光町 ヘルスポ
ランティアの会)

市内の高齢者・障がい者施設の行事、シーツ交換や清掃作業など長年にわたり熱心に高齢者福祉に取組んでこられました。笑顔で取組む姿は、会員の良きお手本になっています。



北殿 穂子さん
(鴨方町 サンパレス
施設でのシーツ交

換・入所者の方との会話にも高齢者の気持ち理解して、いつも笑顔で熱心に耳を傾けている姿は、他の会員の模範となっています。



藤林 節子さん
(鴨方町 鴨方要約筆
記サークル「Pen
Pen」)

6年間要約筆記の会長を歴任され、会の発足以来、講演会等の要約筆記、福祉映画の字幕付け等いつも積極的に参加され、16年間という長期にわたり福祉活動に大きく貢献されました。



猪木 美智恵さん
(鴨方町 託児ボラ
ンティア「プーさん
クラブ」)

ももっ子教室や離乳食教室等での託児に積極的に参加され、地域の子育て支援に献身的に関われ、穏やかな性格は会の和を作り、前向きな姿勢は会員のお手本となっています。



姫井 孝子さん
(鴨方町 託児ボラ
ンティア「プーさん
クラブ」)

長年、つどいの広場、マタニティクラス等の託児ボランティア、子育て支援の主力メンバーとして活動され、又、会の運営にも積極的に参加してこられました。



掛谷 美佐さん
(鴨方町 ボランティ
ア人形劇サークル「風
の子」)

「風の子」の会計としての要職を十分に務め、定例会、公演活動にも積極的に参加され、青少年の健全育成に寄せる熱い思いは常に他の模範となっています。



簡井 滋子さん
(鴨方町 ボランティ
ア人形劇サークル「風
の子」)

代表作のブラックファンタジーの重要なキャストであり、製作副部長として、大変研究熱心ですべての活動の主力として活躍している姿は、他の模範となっています。



河田 照恵さん
(鴨方町 地域ボラン
ティア「コスモス」)

六条院地区の連絡員として会の運営に尽力され、地域の高齢者の方への訪問、見守り等地域の福祉活動に熱心に取り組んでこられました。



栗山 恵子さん
(鴨方町 地域ボラン
ティア「コスモス」)

長年にわたり、明るい笑顔で率先して活動に参加され、地区連絡員としてコスモスの原動力となり、サロンにも参加され高齢者福祉に取り組んでこられました。



中島 和子さん
(鴨方町 食事サ
ビス「えぷろん」)

10年来の活動は、主に配食を担当し、利用者の方への細やかな声掛け、温かな見守りにも定評があり、会員の模範となり、高齢者福祉に貢献されました。



松本 記代子さん
(鴨方町 食事サ
ビス「えぷろん」)

会計として、会の運営がスムーズに運ぶように気遣いをし、これら、調理に配食にと、いつも笑顔で活動される姿は、周りも和やかになり楽しく活動させてくれます。



大西 保子さん
(鴨方町 陶芸ボラ
ンティア)

市内のサロンや施設での作陶指導に長年熱心に取組んでこられました。いつも元気で明るい人柄は所生さんにも親しまれ、障がい者福祉の向上に貢献されました。



道広 幸四郎さん
(寄島町 給食ボラ
ンティア「ガザミの
会」)

「ガザミの会」が始まって以来、長年一括配達を受け持って各地区の配食の方へとお弁当の配達を受持つて、地域福祉に大きく貢献してこられ、会員の模範となっています。



黒川 三枝子さん
(寄島町 介助ボラ
ンティア「たんぽぽ
の会」)

「たんぽぽの会」結成以来、14年間という長期にわたり活動をされておられ、福祉体験の急な依頼にも気軽に参加していただき、福祉教育に積極的な取り組みをされました。



田中 智世美さん
(寄島町 介助ボラ
ンティア「たんぽぽ
の会」)

「たんぽぽの会」の活動にはいつも積極的に参加して、出前福祉での車いす体験や福祉施設での活動にも熱心に取り組まれ、いつも笑顔で周りを明るくしてくれる存在です。



久戸瀬 晴子さん
(金光町 ヘルスポ
ランティアの会)

市内の福祉施設での行事やイベントに率先して参加され、ふれあいサロンでも中心メンバーとして取組まれ、会員や地域の方からの信頼も厚く、地域福祉推進に貢献されています。



原田 智美さん
(鴨方町 ボランティ
ア人形劇サークル「風
の子」)

年間30回余りの公演活動にも休みなく参加して、音響担当として常に作品が生きるようにと努力してくれています。子育て支援、青少年の健全育成に貢献されています。

東日本大震災 復興支援ボランティア 浅口市から8人が参加



活動報告会開催される

「じっとしておれない気持ちで」「ありがとうで疲れふつとんだ」

岡山県社協、岡山県下の市町村社協、岡山県及び岡山県共同募金会では、東日本大震災の被災地復興を支援するため、県下からボランティアを募集しました。活動は5月初旬、8月下旬の間に8回行われ、すでに6回実施されておりあとの2回についても募集は終了しています。

1回につき4泊5日（往路は車中泊）でバス1台20人（一部はバス2台40人）が参加します。活動先は宮城県内の被災地（多賀城市や東松島市など）で現地の実情により随時調整して決めています。浅口市からは、今までに8人の方が参加されました。

浅口市社協では市内から復興支援ボランティアとして参加された方の貴重な体験をお聞かせいたたくため、6月27日に報告会を開催しました。5人の方が出席され、被災地の状況や活動の苦労したことなどを熱っぽく話してくれました。



臭気とのたたかい



現地の社協からのお礼のあいさつ

参加者からの報告



まだまだ支援が必要

牟田敏昭さん(鴨方町)

定年を迎える月に震災が起きました。社協のボランティアバスに申し込みをさせていただき、宮城県多賀城市で活動しました。震災の様子はテレビで見えていましたが、現地に行き、2ヶ月以上たっているのに、手付かずの家、ヘドロのおいなど居住するには大変な苦勞がこれから続くのだと思いました。作業内容は、住宅の畳・汚泥の運び出し、側溝の泥出しを行いました。地元のボランティアセンターでは、スタッフが不足しているようで、受入れ態勢やニーズの把握・調整など大変なように感じました。今後は、手伝いの内容も変化していくと思われますが、まだまだ息の長い支援が必要だという感想を持ちました。

東北の人の気持ちにふれて

山本茂樹さん(鴨方町)

東松島市の大曲地区に行きました。この地区では全部流されて一面泥の田んぼのようになっている地域がありました。家が残っていても1.7mの床上浸水に遭われ、1階の戸やガラスがなくて、2階で住んでいる方もいました。トイレは仮設式のものを使っていました。最終日、雨が降ったので被災している人とお話をする機会がありました。話し込んでいくうちに避難所のようなやこれから生活の不安を話され、返答に困ることがありました。私たちが宿泊しているホテルにバスで30分以上かけて風呂に入り来ている人もいました。子どもたちは大きな風呂が楽しくてはしゃいでいました。

感謝の5日間でした

瀬良祐佳里さん(金光町)

社会福祉協議会でボランティア募集していることをインターネットで知り参加しました。随員職員4人を

含み全47人、うち女性が10人いました。多賀城市明月地区は、家の一階部分は、ほぼ天井まで津波に襲われたそうでもとても住める状態ではなく、今でも手付かずの家がたくさんありました。作業は側溝のヘドロ出しです。普段ならいやだと思いの作業中は汚いものだからこそ、きれいに取ってあげようという気持ちになりました。地区の方も「トイレを使ってください」「水を使ってください」と親切にしてくださいました。区長さんが私たちのバスが見えなくなるまで手を振って見送ってくれました。

ボランティア

おつかれさまでした

5/23~5/27

山下 寿朗さん(鴨方町)

牟田 敏昭さん(鴨方町)

石原 敏光さん(鴨方町)

6/6~6/10

瀬良祐佳里さん(金光町)

6/20~6/24

勝田 健介さん(鴨方町)

山本 茂樹さん(鴨方町)

大嶋 欣也さん(寄島町)

大嶋 直己さん(寄島町)



木かげで休憩のひとつ



津波で家の中は、めちゃくちゃに

平成22年度 事業・決算報告

法人運営

1. 理事会、評議員会の開催状況
理事会 6回／評議員会 4回／監事監査会 1回
2. 職員の研修会等への参加状況 延44回
3. 住民座談会の開催状況 4地区

各種福祉事業

1. 高齢者福祉事業
 - ・給食サービス 延5,302名に配食
 - ・ふとん丸洗いサービス 延80名が利用
 - ・ふれあいサロン 延13,126名参加
 - その他、いのちのバトン等の在宅福祉事業を実施
2. 子育て支援事業
 - ・子育てサロン 延430名参加
 - ・おもちゃ病院 延68名来院
 - その他、要援児、母子父子世帯福祉事業等を実施

3. 児童福祉事業

- ・夏のボランティア体験 約300名参加
- その他、学校での福祉講座等の福祉事業を実施

4. 介護サービス事業

- ・居宅介護支援 ケアプラン作成 1,625件
- ・訪問介護 ヘルパー訪問 10,770件
- ・通所介護 デイサービス利用 7,579人
- ・福祉用具貸与 在宅介護用具貸出 399件

5. 自立支援事業

- ・障がい者（児）訪問介護自立支援 337人

6. 福祉資金貸付事業 7件 182千円

7. 日常生活自立支援事業利用 5名

8. 車椅子対応車両貸出 77件

その他、地区福祉委員による福祉活動、日本赤十字社事務局、共同募金会事務局、老人クラブ事務局、遺族会事務局、介護者の会、障がい者（児）の会、母子父子等の当事者組織支援事業などの地域福祉活動を実施。

財産目録

平成23年3月31日

(単位：千円)

科 目	適 用	金 額
1. 流動資産		101,390
(1) 現預金		76,069
現金		50
預金	普通預金	76,019
(2) 未払金		25,321
(3) 仮払金		0
2. 固定資産		889,791
(1) 基本財産		5,500
基本財産	定期預金	5,500
(2) その他の固定資産		884,291
建物		316
構築物		225
車両運搬具		7,728
器具及び備品		1,291
小口現金貸付金		143
退職共済預け金	職員退職金	53,220
貸付金	生活福祉資金	1,100
地域福祉振興基金積立金	定期預金	240,268
地域福祉活動基金積立金	定期預金	130,000
投資有価証券	国債	380,000
運営資金積立預金	定期預金	70,000
資 産 合 計		991,181
1. 流動負債		11,360
未払金		9,710
預り金		1,650
仮受金		0
2. 固定負債		51,918
退職給与引当金		51,918
負 債 合 計		63,278
差 引 純 資 産		927,903

一般会計収支報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日

収 入

(単位：千円)

会費収入	9,114
寄付金収入	4,617
補助金収入	49,104
助成金収入	11,254
受託金収入	1,177
事業収入（利用料、用具貸与）	6,216
貸付金償還金収入	192
共同募金配分金収入	5,782
負担金収入（シルバー負担金）	11,500
介護保険収入	121,848
居宅自立支援収入	1,427
雑収入	343
受取利息配当金収入	4,106
退職共済返還金収入	2,205
収 入 合 計	228,885

支 出

(単位：千円)

人件費支出	158,510
事務費支出	22,183
事業費支出	33,637
貸付事業等支出	182
補助金支出	932
退職共済預け金支出	6,902
その他固定資産取得支出等	7,152
支出合計	229,498
当期資金支出差額合計	△613

給食サービスのご紹介

まどろっこしいお弁当

笑顔をとえてお届けします



配食時のふれあいのしめ

給食サービスの利用、ボランティアの希望などについては、浅口市社協へ

本所	TEL 44-7744
金光支所	TEL 42-7308
寄島支所	TEL 54-3317

70歳以上の独居高齢者・75歳以上の高齢者世帯等の方々に栄養バランスの良い食事をしていただくことと、ボランティアの方々がお弁当を作り、友愛訪問を兼ねてご自宅までお届けしています。

鴨方町「えぶろん」、金光町「菜

の花」、寄島「ガザミの会」の各ボランティア団体が調理から配食まで行っています。昨年度延べ配食数は5,302食になります。

栄養のバランス・季節・彩り・味……。過去のレシピや本等を片手に喜んでいただけたメニューは何かと毎

回頭を悩ませています。配食担当の方が受取りに来られた時に出来あがったお弁当を見て、「私も食べてみたいわ」とか「私も欲しいくらいじゃわ」とか褒めてもらおうと調理の方も疲れが吹っ飛びます。

また、利用者の方からお弁当の日が待ち遠しいと言う声が聞こえてくると、ボランティアに参加してよかったと心から実感されています。

ボランティアグループ「鴨めーる」「ゆめの会」の方々が、「どうぞ、お健やかに！」と願いながら、絵がみを作りお弁当に添えています。

これから蒸し暑い季節になります。が食中毒には非常に気を使っています。検査もして万全の注意をしていますが、中には2、3日は気になって眠れない方もいるくらいです。届いたお弁当はなるべく早く頂いて下さいと呼びかけています。

この給食サービスは、ボランティアの方々の温かい心のこもった活動です。

調理をしてみたいとか絵がみを描いてみたいと思われる方は是非活動に参加され、皆さんと一緒に喜びを分かち合いませんか？



絵がみの掛紙を添えて



衛生には万全の配慮

紙上介護教室

～よりよい介護を目指して～

介護の合言葉「**やいゆえよ**」を心がけましょう。

や：やさしく **い**：いたわる **ゆ**：ゆとり **え**：えがお **よ**：よろこび

※優しい気持ち、優しい声かけが相手へのいたわりになります。ゆとりをもって介護することで笑顔も生まれ、お互いに元気が出てきます。そして介護する側される側双方が喜びを感じるようになります。

介護方法

※ここでご紹介する介護方法は一例です。要介護者の状態によっては適切でない場合がありますので、あくまでも参考としてご覧ください。



移動、寝返り、立ち上がりの介護

◎移動のポイント

- ・丸くなると動かしやすく、大の字は動かしにくい。丸くなると接地面が少なく摩擦が小さくなるため、同じ体重でも動かしやすい。介護者が大の字の姿勢とすれば安定した状態となる。
- ・要介護者にできるだけ近づいて動かす。
- ・無理に動かそうとせず、この原理を利用する。



①体を起こす(上半身を起こし、足は伸ばした状態)

あお向けに寝た状態から、要介護者のひざを立てて、介護者が前または後ろから支えて体を起こす。要介護者は手をつくなど、できるだけ自分の力も使(づ)くことがポイント。





③横を向く（おお向けから横を向く）

介護者は横を向く側に立つ（ベッドなら立ち、床ならしゃがむ）。要介護者は胸の前で腕を組み、ひざを立てる。マヒがあれば患側の手を健側の手で支えるように組み、患側のひざは介護者が声かけをしながら曲げてあげる。

要介護者の頭を倒す方に向け、介護者は要介護者の奥側（写真では左肩左ひざ）に手を置き、ひざ→肩の順にねじるように体を手前に倒す。

手前に引くようにすると楽に横に向けられる。

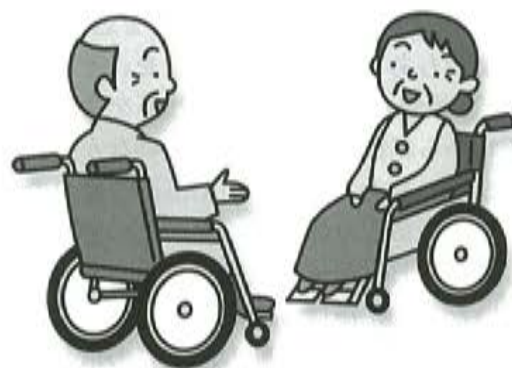


②立ち上がり（床の上からの立ち上がり）

要介護者は①で起きた状態から体を反転させて四つんばいの状態になる。

介護者は片ひざを立てた状態で要介護者の方に向けてしゃがむ。

要介護者は介護者の立てたひざを支えに立ち上がる。介護者のひざの代わりにいすなど安定したものを支えにしてもよい。



浅口市介護者の会

介護をされている方が集まる場、「介護者の会」があります。同じ思いをされた方同士がおしゃべりしたり、気晴らししたり、介護について学習したりすることで、心と体が少しでも楽に介護できることを目指しています。

○活動日

月1回（偶数月は各町で開催 奇数月は合同開催）

○活動内容

- ・レクリエーションや旅行などのリフレッシュ活動
- ・介護者同士やケアマネージャーなどとの交流会など

○年会費 500円

見学もできますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせは浅口市社協本所・支所へ

◆ことばの説明◆

- ・**健側** けんそく：体に左右どちらかに半身マヒがある場合、マヒのない側
- ・**患側** かんそく：健側に対してマヒのある側
- ・**介護者**：介護をする人
- ・**要介護者**：介護を受ける人
- ・**着患脱健** ちやくかんだつけん：マヒがある方の服の脱ぎ着の順序。着る時は患側から、脱ぐ時は健側から行う。



—愛犬・カンタ君。と一緒に—



若い頃は、兄と一緒に農作業！

4人兄弟の中で、私はおとんぼ（一番下）で女性は一、母が病弱じゃかったからタバコや田んぼの百姓のご（手伝い）やら兄の子供の守りなどよしました。娘になってから裁縫や日本刺繍も習いにいって、たくさんの思い出となる作品が残せました。

一日の過ごし方は？

朝起きると一番に、ご仏壇にお供えと念仏を唱えとります。ご先祖に感謝の気持ちを込めて、好きな言葉でもある「ありがとう」を、そして「今日も一日頑張れますように」と手を合わせます。それから結構たくさんの洗濯物なんですが、これを干し終わってから100m近く離れた畑に向います。草取り作業と季節ごとの野菜作りが楽しみで、お昼前まで頑張ります。お昼ごはんを頂いたら、午後は2時間ぐらい昼寝をします。夕方近くになったら朝の洗濯物の取り込みとたたむこと。終わればまた畑に行ってもう一働きです。夜、身を清めてから「今日も一日無事済みました」と仏様にお伝えして、私の一日が終わります。

楽しみは？

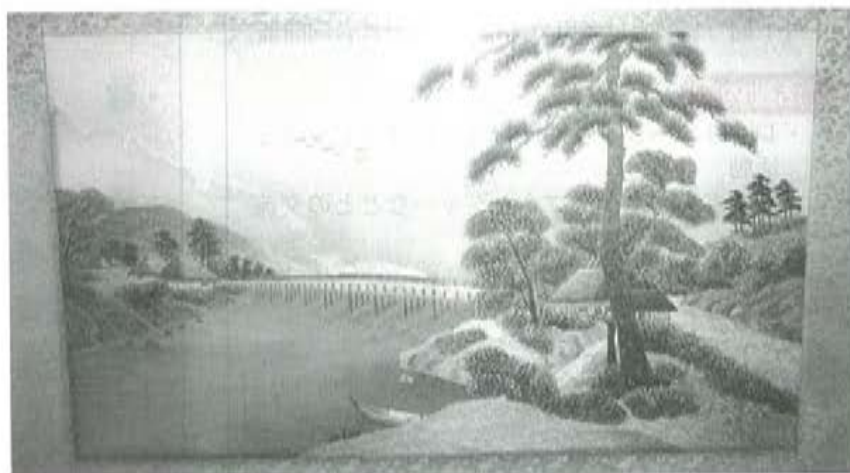
いろんな野菜をつくるのが趣味ですなあ。特に3人の曾孫が我家に来てくれるのが一番楽しみで、食事の時には作った野菜を美味しく食べてくれたり、土産として喜んで持ち帰ってくれることです。また親しい友達と一緒にしゃべりすることも楽しみの一つです。

自慢できることは！

息子夫婦と同居していること！今まで一番多い時が8人家族でしたが、その中で元気に世話できたことですか。二人が共働きだったんで、歳に近い4人の孫を無事育てたことや、その孫が今でも私のことを大事にしてくれることです。今では、全員がそれぞれに結婚して幸せな家庭を築いてくれて、仲良く元気に暮らしとることです。

元気の秘訣は？

息子たちと時にはケンカもしながら、ワイワイ賑やかに楽し^④う過ごしとることですか。食事は何でも美味しく、ゆっくり頂いて食べ過ぎないように注意とります。毎朝パンを食べるんですが、その時、自家製ドリンク（はったい粉、きな粉、桑の葉粉末をミルクで混ぜ合わせたもの）を飲むのが元気の素と思うんです。風呂上りの体操と身体を動かすことを日課にします。時には昔（昭和）の頃の歌を口ずさんだり、いやなことなどは何時までも“くよくよ”せんように心がけとります。



—娘時代のご自慢の記念作品—（山水の刺繍画）

猛暑、そして節電の夏でもある。あるサロンで「一人暮らしでクーラーを使うのはもったいない」「どうしても気がひける」「東北の被災地の方を思うとありがたいこと・・・」という話

節電で「家だんらん

節電の夏、



ふれあいサロンのエッセイ

題になった。「いやいや熱中症にはならないでよ」「クーラーや扇風機を上手に使って、こまめに水分補給を」おしゃべりは続く。今や家族各人に部屋があつて、テレビもクーラーも各部屋で使っている。節電上も問題ありだが、家族で共通の話題ももてないありさま。一つのテレビを家族で囲んでの「一家団欒こそ教育の原点」という論客も登場する。昔はよかったな。モノは豊かではなかったけど、昔の方がよかったな。これがこの日おしゃべりの結論でした。

(文 土屋)

ふれあいサロン研修会

主催：浅口市社会福祉協議会

鴨方会場

日時

9月15日(木) 13:30～16:00

会場

浅口市健康福祉センター 3階シリウス

寄島会場

日時

8月22日(月) 13:30～16:00

会場

浅口市寄島老人福祉センター

(金光会場は7月29日に終了しました。金光の方が他会場を受講してもかまいません)

内 容：工作・レクリエーション指導
(各会場共通) サロン実践発表

参加費：無 料

※ 準備の都合上、締切は各会場開催日の1週間前までに社協本所支所へ連絡してください。

東日本大震災 続く支援 広がる支援

浅口市社会福祉協議会に寄せられた義援金

12,679,371 円

(7月11日現在)



ボランティア連協・老人クラブ等により、毎月11日の街頭募金(鴨方駅前にて)



ふれあいサロンでも、地域ぐるみでバザーを開催しました(金光町道木)



文久三年（一八六三年）には岡山城主・池田茂政と鴨方城主・池田正明詮の立ち合いで試射が行われましたが、砲弾は三郎島にも届かなかつたと伝えられています。砲台は南東に向けて砲撃できるように準備して

青佐山（標高二四九m）の南中腹に鴨方藩が海上の防備のために築いた砲台場の跡地があります。
文政八年（一八二五年）に江戸幕府が外国船打攘令を各大名に命じた時、鴨方藩主・池田正明詮により青佐山の南中腹に砲台を築いて海岸の防備を行いました。

老人クラブが 浅口探訪⑬ 「青佐お台場」 （寄島町青佐地区）

現在、青佐山砲台の跡は「お台場」と呼ばれて文化財に指定され保護されています。この台場付近からは三ツ山をはじめ瀬戸大橋など見事な瀬戸内海の景色を展望できる景勝地となっています。

空き地のみが残されているだけです。砲身の一つは大正の頃までは寄島西小学校にあり、児童が引っ張って遊んでいたようですが、その後は行方不明です。砲車の一つは、大浦神社の神輿倉の床下から発見され、現在大浦神社が所蔵しています。
ありましたが、外国船が通ることはありませんでした。明治四年の廃藩置県とともに廃棄され現在は窪地の

土塁巾3米、高1.5米、2米



「寄島風土記」より

青佐山御台場図

広告

・墓石・建葬石材・記念碑・総合ケアサービス



山下石工所
☎0865-44-2778

工場 ☎0865-44-7631 FAX.0865-44-8944
〒719-0252 岡山県浅口市鴨方町六条院中3637

広告

新型ソリオ 国生



スズキ㈱副代理店
西岡山スズキ販売(株)

山陽高速道路 鴨方インターチェンジ前
浅口市鴨方町地頭上161-5 TEL.0865-44-5461

浅口市社会福祉協議会では、広告を募集しております。詳しくは社協本所・支所におたずねください。

篤志御礼

(平成23年6月30日まで)
ご寄付ありがとうございました。
地域福祉事業に有意義に使用させていただきます。

金光町

- 西川ツヤ子さん(下竹)より
亡夫 利隆さんの香典返し
- 木山正則さん(大谷)より
亡父 寿雄さんの満中陰志
- 鍋谷史郎さん(古見新田)より
亡母 志磨子さんの香典返し
- 古川武雄さん(大谷)より
亡妻 千鶴子さんの玉串料のお返し
- 藤井世根子さん(大谷)より
亡母 美佐子さんの玉串料のお返し
- 三澤智明さん(佐方)より
亡父 末弘さんの香典返し
- 平田眞治さん(須恵)より
亡父 剛さんの香典返し
- 尾崎泰生さん(大谷)より
亡母 和子さんの香典返し
- 西山光治さん(上竹)より
亡母 アヤ子さんの香典返し
- 西 義人さん(大谷)より
亡母 晴子さんの偲び草
- 尾崎官一さん(上竹)より
亡父 節雄さんの香典返し
- 青木直也さん(須恵)より
亡母 智恵子さんの香典返し
- 川手正樹さん(大谷)より
亡父 邦夫さんの香典返し

鴨方町

- 武縄晃恵さんより
一般寄付
- さつきグループさんより
一般寄付

- 石井只久さん(深田)より
亡父 正さんの香典返し
- 武貞信夫さん(本庄)より
亡父 仙三さんの香典返し
- 田中寿男さん(小坂西)より
亡父 鉄夫さんの香典返し
- 花田 雄さん(六条院中)より
亡祖母 トミ子さんの香典返し
- 中村篤孝さん(鴨方)より
亡姉 邦子さんの香典返し
- 清水哲章さん(六条院中)より
亡母 聖子さんの香典返し
- 田口由美子さん(本庄)より
亡夫 始さんの香典返し
- 石井節雄さん(深田)より
亡母 重代さんの香典返し
- 虫明信子さん(鴨方)より
亡夫 祐三さんの香典返し
- 坂本總一郎さん(小坂東)より
亡母 千代子さんの香典返し
- 渡辺勇貴さん(鴨方)より
亡母 イソミさんの香典返し
- 原 栄治さん(小坂東)より
亡父 勇さんの香典返し
- 田中 浩さん(小坂西)より
亡父 菊男さんの香典返し
- 福田利一さん(小坂西)より
亡父 定一さんの香典返し
- 濱藤美香さん(神戸市)より
亡父 三宅正志さんの香典返し

寄島町

- 高橋敬美さん(奈良県)より
亡母 世津子さんの香典返し
- グループホームふるさとさんより
一般寄付
- 稲塚富子さんより
一般寄付

- 佐藤幸三さん(早崎)より
亡父 朝則さんの香典返し
- 佐藤美代子さん(早崎)より
亡夫 勝さんの香典返し
- 三宅志加子さん(早崎)より
亡夫 雅司さんの香典返し
- 菅 浩志さん(早崎)より
亡母 富子さんの香典返し
- 岡邊勇司さん(中安倉)より
亡母 松代さんの香典返し
- 岡邊隆則さん(早崎)より
亡母 重子さんの満中陰志
- 藤本良章さん(国頭)より
亡父 一良さんの香典返し
- 坂本眞一さん(早崎)より
亡母 綾子さんの香典返し
- 金井 修さん(早崎)より
亡妻 ヒサコさんの満中陰志
- 田中郁夫さん(片本)より
亡父 悦三さんの香典返し
- 竹本好之さん(片本)より
亡父 道之さんの香典返し
- 川崎英子さん(西安倉)より
一般寄付
- 寄島町母子寡婦福祉会さんより
一般寄付



ペットボトルのふたを集めて福祉に役立つことは聞いた事がありました。他にも多くの収集アイテムがあることがわかりました。

金光町 川上さん

社協では障がい者の「害」をひらがなにしたのは感動しました。実は父親がこのたび右ひざの手術をして家族に障がい者をもつことにより今まで以上に関心をうけました。

寄島町 Tさん

「福祉あさくち」を読んで浅口ふれあい号のことを知りました。両親は車の運転をしないので、大いに関心をもちたいと思います。

金光町 安部さん

福あさ

提供：鶴万高校まんが愛好会
画：PNJ

4コマ劇場

「ある日の一日」



地域の
ラジオ体操に
参加しましょう!!

敬老会、まず、集合写真を撮っておきましょう

敬老会写真焼き増しサービス



敬老会は、多年にわたり社会に貢献してきた高齢者の長寿を地域ぐるみで祝う集いです。社会福祉協議会では敬老会の集合写真等の焼き増しを助成することにより、地域でのたすけあいの精神を盛り上げるものです。

敬老会写真焼き増しサービスの詳しいことは、社会福祉協議会へおたずねください。

福祉あさくち

第19号

発行：浅口市社会福祉協議会

クイズ

探して並べて

今号の紙面に□で文字をかこんだ箇所が8か所あります。この8文字をならべかえて、言葉をつくりだして下さい。

◆ヒント 鉄道マニアふえています。

◆締め切り 9月30日(金)

◆締切のこたえ 前回のこたえ がんばろうにつぼん

消印有効

応募方法

官製ハガキに住所、氏名、答えと「福祉あさくち」の感想を必ずお書きの上、〒719-0243 鶴万町鶴万73番地 浅口市社会福祉協議会まで、正解者の中から抽選で20名に記念品贈呈。

暑中御見舞
申し上げます



みごと、社協本所のゴーヤのカーテン

二〇一一年夏
浅口市社会福祉協議会
役員職員一同

福祉あさくちは、今号より読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)字体へ

表紙のことば

岡山県下の社会福祉協議会等が募集した東日本大震災の復興を支援するボランティアに浅口市から8の方が参加されました。(関連記事6～7ページ)